

会 議 録 (要点記録)

会 議 名	第 3 6 期小金井市公民館運営審議会第 1 6 回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 5 年 5 月 1 7 日 (水) 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 1 5 分		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎 8 0 1 会議室		
出 席 委 員	渡邊委員長 嵯峨山副委員長 大久保委員 川原委員 坂内委員 橋本委員 本川委員 吉田委員		
欠 席 委 員	浅野委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 渡邊庶務係長 落合事業係長 松本貫井南分館長 山崎緑分館長		
貫井北・東分館 事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 村山貫井北分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	3 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について</p> <p>(2) 小金井市行財政改革 2 0 2 5 及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について</p> <p>(3) 公民館事業の報告について</p> <p>3 審議事項</p> <p>公民館事業の計画について</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 宿泊事業と野外調理場の検討状況について</p> <p>(2) 第 3 7 期公民館運営審議会 委員募集について</p> <p>(3) 次回開催日程について</p> <p>5 閉会</p> <p>配付資料</p> <p>資料 1 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告書</p> <p>資料 2 公民館事業の報告</p> <p>資料 3 公民館事業の計画</p> <p>資料 4 小金井市行財政改革 2 0 2 5 及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の託化について答申書 (案)</p>		

会 議 結 果

次第1 開会

次第2 報告事項 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について

【吉田委員】

- ・ 令和5年5月17日に国立市の公民館で第1回都公連委員部会が開催された。報告事項として、前回議事録の承認、都公連総会の報告、都公連の在り方検討、コロナ禍後の公民館の課題、都公連の組織像と役割、今後の取組みということで報告があった。また、昨年度をもって町田市、日野市が退会した。
- ・ 協議事項として、令和5年度の活動と委員部会の日程のほか、委員部会の研修会を10月14日に、研究大会を令和6年2月に開催する予定である。

【鈴木公民館長】

- ・ 都公連総会について、今年度、小金井市が東京都公民館連絡協議会の会長市となっている。都公連は今年度から9市に規模を縮小しており、新たに加盟するような状況ではない。都公連としても危機感を抱いており、今後、1年間かけて、都公連の在り方を検討する予定である。

【渡邊委員長】

- ・ 質問があればお願いします。

【大久保委員】

- ・ 今後の都公連の在り方を今年度、検討していくということだが、議論の進捗や方向性等について、情報共有していただきたい。

【鈴木公民館長】

- ・ 都公連は各市との情報交換や研究大会の開催など、公民館活動の向上を目的とした組織であるが、近年は加盟市も減少しており、毎年、会長であったり、副会長、研究大会の開催市、各部会の会長など毎年、何かしらの当番が割り当てられており、かなり負担感が大きくなってしまっているのが現状である。このような状況を踏まえ、今後、都公連の在り方を検討することになるが、進捗等については、適切な時期に報告するとともに、意見も伺いながら進めてまいりたい。

【吉田委員】

- ・ 委員部会では他市の講座などについて情報交換をしたり、毎年、研修会や研究大会など非常に有意義な取組みをしている。一方で、町田市や日野市が退会している状況もあり、今後、9市でどのように考えるのか、都公連の顧問などの意見も聴きながら進めていただきたい。

【川原委員】

- ・ P T Aでも同様の問題が起きていると思うが、町田市や日野市は公民館を生涯学習センターに位置付けるから退会するとか、こういった理由によるものか。

【鈴木公民館長】

- ・ 町田市に関しては、都公連を退会することについては公運審の中でも協議したようである。他市との情報交換、意見交換ができるという側面では有意義な組織であると思うが、規模の縮小や事務の負担という課題がある中では、在り方を検討する時期にきていると思う。

【本川委員】

- ・ 生涯学習センターに変更するから退会する訳ではないということか。

【鈴木公民館長】

- ・ 都公連は必ずしも、社会教育法に位置付けられる公民館だけではなく、生涯学習センターなどの類似施設も加盟できるものと認識している。

次第2 報告事項 小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について

【渡辺庶務係長】

- ・ 令和5年4月12日の公運審で協議した後、4月18日に委員長から公民館長宛てに答申書が提出された。今後、5月の末から6月上旬に計4回、説明会を開催する予定である。その後、第2回定例会で関連予算が可決された後、6月末から公募型プロポーザルを実施し、9月末には事業者を選考する予定である。

【渡邊委員長】

- ・ 今期の公運審の任期期間中に事業者選が決まるか。

【渡辺庶務係長】

- ・ 任期中には難しいと思うが、随時、経過等を報告する。

次第3 報告事項 公民館事業の報告について

【落合事業係長】

- ・ 公民館事業の報告について11事業について報告する。詳細は資料をご覧ください。

【渡邊委員長】

- ・ 質問があればお願いします。

【大久保委員】

- ・ 資料2の1ページ「スタディールーム貫井南」は写真つきでわかりやすい。他の館の自習スペースに比べると、使い勝手がよさそうに見える。各公民館で学習効率の向上につながるようなスペース確保をお願いする。東分館2階の自習室は、差し当たっての工夫を行うなど、使いやすくして欲しい。

- ・ 10ページ、11ページ「NPO法人独自事業」と冠があるが、委託館としての独自事業であることがわかり、よくアピールされている。
- ・ 市報やホームページでも、公民館で実施している事業であることがわかるように、引き続き、工夫してアピールして欲しい。

【落合事業係長】

- ・ コロナ禍は本館と貫井北分館においても、スタディールームを設置していたが、本館は施設が狭いこと、貫井北分館はロビースペースを従来通り開放していることもあり、現在はスタディールームとしての運用は行っていない。
- ・ 東分館については、ご意見を踏まえ、検討したい。

【川原委員】

- ・ 貫井南分館のスタディールームの競争率はどうか。

【松本貫井南分館長】

- ・ 時期による。テスト前は利用率が高くなる。貫井南分館の施設の広さや利用者数などから、1席当たりのスペースを広く取れるのが特徴である。

【川原委員】

- ・ 中高生の居場所として、ぜひ、他の館でも活性化して欲しい。

次第3 審議事項 公民館事業の計画について

【落合事業係長】

- ・ 今後、3か月程度の事業として18事業について承認をいただきたい。詳細は資料をご覧ください。

【川原委員】

- ・ 貫井南分館の「家族と考えたい アンガーマネジメント」について、保育付きの講座ということで、子育て世代の参加にもつながる取組みだと思う。
- ・ 昨年度のアンガーマネジメント講座との違いはあるか。

【松本貫井南分館長】

- ・ 昨年度は親子向けと大人向けの2回実施している。今年度は誰でも参加いただける内容としており、子育て世代の方も参加できるように工夫した。

【坂内委員】

- ・ 市民アカデミーは非常に素晴らしい内容となっているが、興味のあるところだけ参加することはできるか。ネット配信をするのか伺いたい。

【落合事業係長】

- ・ 原則として、全ての回に参加していただきたいと考えている。市民アカデミーは市民と企画実行委員のほか、公募市民も含めて計画している。

- ・ この度、ご高名な方に講師を引き受けていただけることになったため、秋期の第7回だけは、特別講座として定員を増やして北町ホールで開催する予定である。また、秋期については、公民館に来ることが難しい方を対象に、講座管理システムで配信予定である。

【渡邊委員長】

- ・ 公民館事業の計画については、承認ということによろしいか。

(異議なし)

次第4 その他 (1) 宿泊事業と野外調理場の検討状況について

【鈴木公民館長】

- ・ 公民館中長期計画において、委託に当たり解決すべき課題として宿泊施設利用率の向上、野外調理場の存続に向けた検討について、この間、検討を行った。先日の答申においても、事業再開に向けた方向性を適切に示すこととされており、現状を報告する。
- ・ 宿泊事業は、コロナ禍で事業を中止しており、再開に向けた検討を進める中で、布団使用料の徴収を行う場合には、旅館業法に基づく手続きが必要であり、当該手続きを行っていないことが判明した。保健所及び建築指導事務所に確認したところ、実費負担であっても費用を徴収する場合には旅館業法の手続きが必要であること、また、緑分館周辺地域では用途地域の制限から旅館業の用途は認められないとのことであった。なお、市が費用を徴収しない形での事業実施であれば、事業継続は可能となるため、規則改正等の手続きを進めたい。
- ・ 野外調理場について、近隣の方々や町会・自治会、利用団体への意見聴取等を行ってきており、今後、意見等を踏まえて安全性の確保や周辺環境への影響、環境政策課との調整結果等に留意しつつ、再開に向けた準備を進めてまいりたい。具体的には釜戸の移設、調理台等の改修、生垣等の設置を行い、利用ルールを徹底し、青少年教育活動の場として活用してまいりたい。進捗は随時、報告する。

【渡邊委員長】

- ・ 宿泊事業について、布団の借り方はどのように考えているか。

【鈴木公民館長】

- ・ これまでは、市が布団業者と契約して、実費負担分として利用者が市に布団代を収めていた。旅館業法では実費負担であっても費用を徴収する場合には、所管行政庁の許可が必要になる。利用者が布団を使用する場合は、利用者が直接、布団業者と契約したり、寝袋を持込んで利用することを想定している。布団業者の紹介程度は行えるよう準備したい。

【川原委員】

- ・ 市内には宿泊できる場は限られる。夏場などは、寝袋やタオルの持込みで宿泊できるのであれば、活性化されるのではないかと思う。

【坂内委員】

- ・ 光熱水費は市の負担ということか。

【鈴木公民館長】

- ・ そのとおり。実費負担であっても宿泊に伴う料金を徴収することは旅館業法に抵触するとのことである。

【坂内委員】

- ・ 陶芸窯の電気代はこれとは別ということによろしいか。

【鈴木公民館長】

- ・ 陶芸窯については、使用前後のメーターを確認して、電気料を徴収している。宿泊事業とは別である。

【川原委員】

- ・ 以前に、野外調理場の釜戸を緑センター敷地内に移設する話もあったと思う。経過を伺いたい。

【鈴木公民館長】

- ・ 野外調理場については、コロナ禍ということもあり使用を中止し、現在に至っている。その際、周辺環境等を考慮したときに現在地での再開は困難であると考えていた。これまで、野外調理場では本来の使用にそぐわないバーベキューでも使用されており、臭気や煙などに関する苦情があった。その後、近隣の方々等の意見を伺いながら、どのような形であれば再開できるのかを検討を重ねたところ、本来の使用目的である青少年教育活動の使用に限定し、ルールを定めて、現在地で再開する方向で進めることになった。

【落合事業係長】

- ・ 使用のルールとしては、青少年活動をメインとして活動の団体に限定する。また、市が使用方法の講習を行い、受講した団体に限り、使用を許可する予定である。野外炊事の必要性、実用性を理解していただき、協調性、協働性などを学び、子ども達の育成につなげていただきたいと考えている。

【渡邊委員長】

- ・ 以前の説明で、かなり遠くまで臭気や煙が拡散されるという話であったが、防ぐことはできるのか。

【落合事業係長】

- ・ 完全に排除することは難しいが、使用方法等について市が管理して、利用団体の皆さんにもご協力いただきながら、適切に運営したい。

【吉田委員】

- ・ 宿泊について、災害時などにも使用できるのか。また、緑分館だけでなく、他の分館でも同様に宿泊できるのか、伺いたい。

【鈴木公民館長】

- ・ 地域防災計画では、緑分館は遺体収容所に位置付けられており、災害時に宿泊することはできない。公民館各館も、災害時の避難所でない。避難する場合は、市内各所に設置される一時避難所に宿泊する。

【橋本委員】

- ・ 防災訓練などで使用することはできるのか。

【鈴木公民館長】

- ・ 公民館は社会教育施設であり、防災教育という観点で使用することはできる。

【本川委員】

- ・ 野外調理場について、青少年教育活動の使用に限定すること、対象者に対しての講習会の実施は有意義である。ぜひ、実施してもらいたい。
- ・ 緑分館は遺体収容所ということであったが、緑分館までは、道が狭く、奥まった位置にある。直接、公運審の議論対象内容ではないが、意見として申し上げる。

【大久保委員】

- ・ 宿泊設備については、シャワー室や浴室、畳の部屋など、結構な面積を占めている。現段階では、市の結論として、宿泊の再開に向けて動き出しているが、今は時代が変わり、色々な宿泊設備がある。将来を見据えたとき、2040問題で子どもが減っていく中で、果たして、この事業を維持していく意義があるのか。多目的に使用できるスペースが少ないため、宿泊スペースを廃止して、他の用途にも使用できるようにリノベーションすることも考えてほしい。
- ・ 野外調理場について、様々な協議、調整をした結果、現在地で再開ということだが、周辺環境等の内在した課題があると思われる。持続可能性のためにも、同じ問題が起きないように、事業は複眼的な視点で進めていただきたい。

【渡邊委員長】

- ・ 直近では小金井市の人口は微増傾向にある。その時代に合った対応をお願いしたい。

次第4 その他 (2) 第37期公民館運営審議会の委員募集について

【渡辺庶務係長】

- ・ 第36期公運審の任期は9月8日までとなっている。小金井市公民館運営審議会規則及び公民館運営審議会委員候補者選出要綱に基づき、市立小中学校長会、商工会、社会福祉協議会、PTA連絡会から各1名、社会教育関係団体から2名選出していただく。また、公募委員3名について、市報に募集記事を掲載したことを報告する。

【渡邊委員長】

- ・ 委員は3期までか。

【鈴木公民館長】

- ・ 連続3期までだったと記憶している。

【大久保委員】

- ・ 委員の中には仕事をされていて、定年延長などもあり、忙しくて時間が取れない人もいると思う。例えば、年間の回数を減らしたり、現地での参加が難しい委員はオンラインで参加するハイブリット会議での対応はできないか。資料もオンラインで共有するなど、会議体を効率化するための工夫をお願いしたい。それによって、委員のなり手が広がり、幅広い世帯層の方が参加しやすいのではと思う。

【川原委員】

- ・ 公運審は他の審議会に比べると、開催回数も多く、情報共有や審議のスピードの面でも良い点だと思う。自分が企画実行委員をしていたとき、高齢の方も多かったこともあり、子育て世代の人たちでも参加しやすいように工夫してもらいたい。

【大久保委員】

- ・ 高齢者の方々の社会参加、子育てをしている方や働いている方々も参加できるような場になると良い。

【渡辺庶務係長】

- ・ 会議の開催回数やオンラインでの参加など、様々な意見があると思う。今後のトレンドなども踏まえて検討したい。

次第4 その他 (3) 次回開催日程について

【渡辺庶務係長】

- ・ 次回は6月14日午前10時から場所は801会議室となる。
- ・ なお、次回は、公民館施設の有料化について、過去にお示しした資料等について説明しながら、今後の方向性等について、協議をお願いする。

【鈴木公民館長】

- ・ 有料化については、大きな課題と認識している。第33期と第35期で一定議論したものの、有料化の範囲が異なることから、時期の公運審で協議していただくことがよいのか、どうかも含めてご意見を頂戴したい。

次第6 閉会

【渡邊委員長】

- ・ 以上で第16回審議会を終了する。

— 了 —

第36期小金井市公民館運営審議会第16回審議会

とき：令和5年5月17日（水）午前10時

場所：小金井市役所第二庁舎801会議室

次 第

1 開会

2 報告事項

- (1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会の報告について（資料1）
- (2) 小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について（資料4）
- (3) 公民館事業の報告について（資料2）

3 審議事項

公民館事業の計画について（資料3）

4 その他

- (1) 宿泊事業と野外調理場の検討状況について
- (2) 第37期公民館運営審議会 委員募集について
- (3) 次回開催日程について

5 閉会

[第36期小金井市公民館運営審議会 第16回審議会資料

令和5年5月17日(水) 公運審委員 吉田 孝

令和5年度第1回都公連委員部会 運営委員会(定例会)

日時: 令和5年4月27日(木) 14:00~16:10

会場: 国立市公民館

参加: 9市 公運審委員 記録: 昭島市

1、開会

各市選出委員の自己紹介ならびに国立市都公連委員部会事務局担当者紹介

2、報告事項

- ① 令和4年度第11回(前回)委員部会 運営委員会 議事録確認
- ② 都公連総会: 4月19日: 町田市生涯学習センター・報告
 - ・ 都公連の歴史と課題~都公連の設立とこれまでの成果
 - ・ 都公連のこれまでのあり方検討会の成果と課題
 - ・ コロナ禍後の公民館の課題
 - ・ 都公連のこれまでの組織像と連絡協議会の役割
 - ・ 今後の取り組み
 - ・ 日野市、町田市退会報告

3、協議事項

(ア) 令和4年度の都公連委員部会申し送り事項を踏まえ、令和5年度の活動について

(イ) 令和5年度委員部会委員会日程(案)検討

(ウ) 令和5年度委員部会第1回研修会について

10月14日(土)開催予定・国立市公民館

4、情報交換

各市より配布された市報、「公民館だより」など情報紙・誌に基づき公民館活動の紹介および報告

次回(令和5年度 第2回)運営委員会:令和5年6月29日(木)国立市公民館

以 上

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁	
貫井南分館	スタディールーム貫井南		1	
東分館	少年教育事業	ひがし子ども囲碁教室	2	
	NPO法人独自事業	公民館・図書館連携教育事業 学びのトビラ 宮沢賢治作品の世界	3	
緑分館	青年教育事業	生活日本語教室	4	
貫井北分館	青年教育事業	青少年教育講座 若者による自主講座 「法政大学将棋部が教える将棋体験教室」	5	
	成人教育事業	市民講座 地域福祉のための講座 きたまちカフェー認知症を予防しようー	6	
		成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動 きたまちセンターの花サポーター講座 ー元気になれるコンテナガーデンー	7	
		成人学校 健康づくり講座 手芸で脳トレ ークロスステッチ刺繍を楽しもうー	8	
	男女共同参画教育事業	きたまち保育サポーター制度		9
	NPO法人独自事業	公民館・図書館連携教育事業	きたまちYAサポーター・きたまちYAひろば	10
手製本工房きたまち堂 ー思い出を綴(と)じる 糸かがりのアルバムー			11	

貫井南分館

スタディールーム貫井南

目的 まだコロナ禍にあって自宅での学習を行う環境から、公民館自習室を開放することで、学習に集中できる環境の提供を行い、学習効率の向上に寄与する。

実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

会場 公民館貫井南分館自習室（貫井南センター2階）4席

利用方法 事前登録制とし、利用時間制限はなく開館時での利用となる。

利用人数等（集計）

利用人数 390人（延べ）

年代別利用人数 10歳代：275人 20歳代：18人 30歳代：5人

40歳代：4人 50歳代：1人 60歳代：10人

70歳代：77人 80代：0人

町別利用 中町在住者1%、前原町在住者36%、貫井北町在住者2%、貫井南町61%

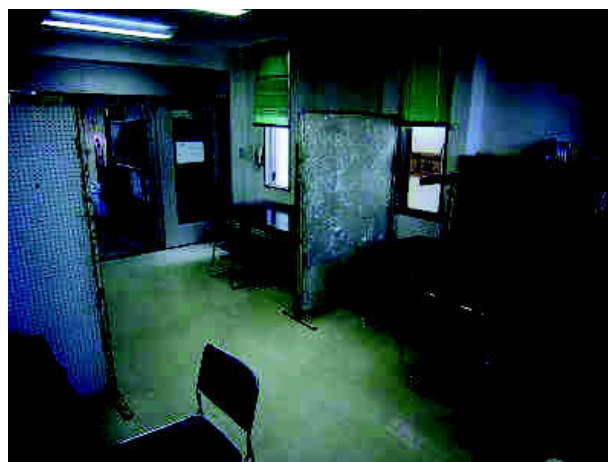
登録人数 26人（男性12人、女性14人）

利用平均時間 3.6時間

担当職員 松本 浩明

職員感想

事務室は1階、自習室は2階で保安管理上、目が行き届かないこともあり、今後もこの形で継続していきたいと考えている。利用時間が最長時間10時間を超えるという方もいる。机4つではあるが一つの机が大きいこともあり書籍等が自由に置くことができるメリットもある。



東 分 館

少年教育事業	ひがし子ども囲碁教室
--------	------------

目 的 市内の小学生を対象に、レベル別クラス編成指導で囲碁上達を目指します。また、囲碁を通してルールやマナーを学ぶことも目的とします。

日 程 4月2日から令和5年3月25日までの毎週土曜日
午前10時から正午まで 全42回
東センターまつり、東小学校の行事開催時、年末年始はお休み

場 所 公民館東分館 集会室A・B

講 師 小金井^{うろ}烏鷺の会

募集方法 市報3月1日号、月刊こうみんかん3月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
多数抽選 往復はがきで受付

対 象 市内在住・在学の小学生の方

人 数 募集 10人 応募 14人 継続参加 14人
受講 28人（男性20人、女性8人） 延べ参加者 744人

担当職員 浅香 佳代子

担当職員感想 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もなく、1年を通して安定した運営を行うことができました。参加している子どもたちや、保護者の方からの感謝の声が、講師の先生方の励みになっています。囲碁を通して、地域の交流が生まれることに意味があると思います。

参加者感想 ○いごはとても楽しいです。しあいが楽しいです。6年生になってもつづけて、つよくなりたいです。
○毎週楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。
○いつも温かく指導していただき、ありがとうございます。地域のみなさんの優しさが、子どもの心の中にたくさん届いています。いつも囲碁教室のあとはうれしそうにしています。そんな環境で、囲碁の力もどんどん伸びて、本当に素晴らしい先生方と公民館が用意して下さった場があるからだと思っております。（保護者感想）

東 分 館

公民館・図書館連携 教育事業 NPO 法人独自事業	学びのトビラ 宮沢賢治作品の世界
--	-----------------------------

目 的 文学作品を愉しむことは、言葉の美しさに触れながら感性を磨くことに繋がります。また名作といわれる作品は教科書を通して出会うこともあり、世代を超えて読み継がれているものもあります。今回、教科書で一部紹介されている『よだかの星』を中心に上げ、宮沢賢治の作品の魅力や鑑賞の方法を学ぶことを通して、教養の向上に寄与することを目的とします。

日 程 3月18日（土） 午後2時から4時まで

内 容 宮沢賢治の代表作『よだかの星』を中心に上げながら、作品の魅力や鑑賞の方法について座学形式で学習します。

講 師 大島 丈志さん（文教大学教育学部教授）

場 所 公民館東分館 学習室A・B

募集方法 市報2月15日号、月刊こうみんかん2月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順、メール、電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 12人
応募 19人
受講 16人（男性4人、女性12人）

担当職員 倉本 恵子（公民館職員）、武井 真（図書館職員）

担当職員感想 宮沢賢治の人生を振り返ると共に、『よだかの星』を中心に上げながら、宮沢賢治の作品の魅力や楽しみ方について学びました。質疑応答では参加者の方々からの質問が講師に多数寄せられるなど、双方向での学びも深まった講座となりました。

参加者感想 ○宮沢賢治の読み方の基本的なところがわかり勉強になった。第2弾希望します。一人で読んでいると、どう解釈すればよいのかわからなかったのですが、これを機会に続けて読みたい。大島先生ありがとうございました。学びのトビラで取り扱って欲しい作家、三島由紀夫、大江健三郎、遠藤周作、芥川龍之介など。

緑 分 館

青年教育事業	生活日本語教室
--------	---------

目 的 市民と市内及び近隣在住の外国人がお互いに理解を深めるための国際交流事業の一環として、日本語の日常会話に不自由している外国人に対して、ボランティアスタッフが市民生活に必要な初歩の日常会話の学習を支援するとともに、市民と外国人学習者との交流を図り、日本文化を理解してもらうことを目的とする。

日程・内容 毎週土曜日（年間42回）、日常生活に必要な日本語学習の支援、年中行事等を通じた各種イベント

時 間 午前10時30分～正午

募 集 方 法 市ホームページ、チラシ、市民課外国人窓口にて案内

参加人数 (1) 学習者 388人
(2) 体験者 43人
(3) 生活日本語教室ボランティアスタッフ 411人
合計 842人

参加者の出身国 アメリカ、ベトナム、スペイン、インド、タイ、ミャンマー、バングラデシュ、エジプト、ケニア、イラク、アルゼンチン、ガーナ、台湾 など

年間行事 1月 新年会

担当職員 山崎 敬広

貫井北分館

青少年教育講座	若者による自主講座 「法政大学将棋部が教える将棋体験教室」
----------------	--

- 目 的** 将棋の基本を楽しく習得しながら、大学生と世代間の交流を促進する。また、地域の大学生が自主講座として企画・実施することで、チームワークの大切さや地域との交流を深める。
- 日 程** 令和5年3月25日（土）午後2時から4時まで
- 内 容** 第9回貫井北センターまつりの来場者が誰でも参加でき、初心者には将棋を教え、また将棋経験者には対局を楽しんでいただく。
- 場 所** 公民館貫井北分館 生活室A B
- 募集方法** 市報こがねい3月1日号（第9回貫井北センターまつりのイベントの一環として掲載）、ポスター・チラシ、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、当日直接会場へ
- 対 象 者** どなたでも
- 人 数** 参加者23人（男性21人、女性2人）
- 企画実行** 法政大学 小金井将棋部（三石康生、鈴木十葉、金川大悟、塚田平太郎、福田弘平、小川純貴）
- 担当職員** 伊藤 智代子
- 担当職員感想** 参加者は4歳の女の子から70歳代男性と幅広い世代が将棋を楽しみました。コロナ禍のため延期が続き3年ぶりの開催になりました。
- 参加者感想** ○誰でも参加できてよかった。また参加したい。
○小学校の頃、教室に将棋があり、将棋はその時以来。楽しかった。（6歳の娘さんと参加した父親の感想）
- 企画者感想** ○様々な年齢の方とのコミュニケーションを通して、興味をもってもらうにはどうすればよいかについて、今後に活かすことができる教え方を考えることができた
○どこまで教えるべきかを考える事が大変だったように思います。一人一人に対して、時間をどの程度までかけるべきかを考える事が大変だったと思います。
○将棋という競技の性質もありますが、人に何かを教えるにあたっての用意の大切さについて、改めて実感できることができました。

貫井北分館

市民講座	地域福祉のための講座 きたまちカフェ～認知症を予防しよう～
-------------	--

目的 認知症の方やその家族が気軽に相談でき、安心して過ごせる場を
 すること。地域の住民がだれでも参加でき、あたたかい交流が生まれる場を
 すること。

日程 4月4日から3月6日までの毎月第1月曜日
 ※1月除く(全11回) 午前10時から正午まで

内容 おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁など

募集方法 市報4月1日号、7月1日号、10月1日号、1月15日号、月刊こう
 みんかん、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、集会施
 設にチラシ設置、自由参加、当日直接

人数 下表のとおり

日程	参加者	サポーター	日程	参加者	サポーター	日程	参加者	サポーター
4/4	5		5/2	6		6/6	6	
7/4	10		8/1	5	1	9/5	8	1
10/3	13	1	11/7	9	1	12/5	10	1
2/6	19	3	3/6	18	2			

延べ参加者 109人(男性44人、女性65人)

延べサポーター10人

担当企画実行委員 関野 寿幸、塚田 昭子、原 幸恵、森 千尋

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 コロナでしばらく館内のカフェができませんでしたが、飲食なし、
 時間短縮をして再開しました。徐々に参加者が増えとても賑やかにな
 りました。サポーターさんはまだまだ少ないですが、少しずつ戻っ
 てきてくれています。企画実行委員さんのご協力のもと、今後も継続し
 ていきたいです。

企画実行委員感想

- 麻雀卓が増えて、たくさんの方が楽しめて良かった。頭の体操に
 良いようです。
- 折り紙でコマを作ったけれど、もっといろいろ折れば良いです。
- 人がいっぱい来てビックリしました。

貫井北分館

成人学校	きたまちセンターの花づくり・緑化活動 きたまちセンターの花サポーター講座 ～元気になれるコンテナガーデン～
-------------	--

目的 きたまちセンターを飾る、花壇や鉢植えのメンテナンスをする花サポーターの養成。また、自宅でも応用できる鉢を使った寄せ植えと庭造りの簡単な方法を学び、実習や野外研修などを通じて受講者間の交流をはかる。

日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
1	9月 9日(金) 午前10時～正午	オリエンテーションと 土の再生(実習)	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
2	10月 7日(金) 午前10時～正午	コンテナ栽培の基本	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
3	10月 21日(金) 午前10時～正午	堆肥・肥料の混ぜ込みで土づくり	なし
4	11月 11日(金) 午前10時～正午	きたまちセンターの 植物植え込み実習	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
5	11月 25日(金) 午前9時～午後4時頃	フラワーパークHANA・BIYOR I、都立桜ヶ丘公園	園内ガイド
6	12月 5日(月) 午前10時～正午	フラワーアレンジメント	森 このみさん (生花店主)
7	1月 13日(金) 午前10時～正午	代表的な病虫害	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
8	2月 3日(金) 午前10時～正午	寄せ植えのデザイン	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
9	3月 17日(金) 午前9時～午後4時	私の寄せ植えづくり	尾路 紀恵さん (グリーンアドバイザー)
10	3月 24日(金) 午前10時～正午	講座の振り返り	なし

場 所 公民館貫井北分館 創作室ほか

募集方法 市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 多数抽選
往復はがきまたはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 16人 応募 23人

受講 16人(男性2人 女性14人) 延べ参加者 135人

担当企画実行委員 原 幸恵、森 千尋

担当職員 伊藤智代子

担当職員感想 講座や野外研修を通して交流が深まり、定期的な水やり当番で、チーム力を発揮できた講座となりました。

参加者感想 ○毎回楽しく参加させていただきました。四季を通して、お花を楽しみたいので、一年通して教えていただくと有難いと思います。

貫井北分館

成人学校

健康づくり講座 手芸で脳トレ〜クロスステッチ刺繍を楽しもう〜

目的 楽しみながらクロスステッチ刺繍を行い、脳の健康を維持し、同じ趣味を持つ仲間づくりをする。

日程 基礎：9月8日・22日
作品作り：10月6日・11月3日・12月1日・1月5日
※いずれも木曜日、午前10時～正午。全6回

講師 佐野 幸子さん（てしごと教室主宰）

募集方法 市報8月1日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、多数抽選

対象 市内在住、在勤、在学の方

人数 募集 12人
応募 23人
受講 12人（女性12人）
延べ参加者 65人

担当企画実行 塚田 昭子

担当職員 野津 幸代



担当職員感想 クロスステッチは初めてという方が多く、最初は針に糸を通すのも難しかったようですが、基礎編の2回のみ実習に来ていた武蔵野大学の学生がフォローしてくれました。作品作りは、図案を決め、どのような作品に仕上げるか等、講師と相談しながら進めました。お互いの作品を見ながら、いろいろなアイデアが浮かぶようでした。講座で作った作品を、センターまつりで展示しました。センターまつりでは講師の発案で、クロスステッチ刺繍体験コーナーを作り、たくさんのお子さんに体験していただきました。手芸の楽しさを広めることができました。

参加者感想

- 人それぞれでいいのよ、型にはまらなくてという姿勢がうれしかった。これからもお付き合いしたい先生です。ありがとうございました。
- 大変熱意のある講師、親切な職員さんに感激しました。又、参加費が安いのにあれだけの材料を用意して頂き驚きました。

貫井北分館

男女共同参画事業	きたまち保育サポーター制度
-----------------	----------------------

目 的 子育て中の保護者やお子さんの子ども・子育て支援講座や男女共同講座などの保育を通じた生涯学習支援、および子育てに興味がある方や、子育てが終わった方の生涯学習、また保育サポーター同士の交流をととした地域のコミュニティづくり。

日 程 令和4年4月21日（木）から令和5年2月25日（土）まで

内 容 保育室の設営、保育の実施、「保育の記録」の作成、おもちゃの管理

講座名・きたまち保育サポーター数・保育したお子さんの人数

場 所	講座名	回数	保育サポーター(延数)	保育したお子さん(人)		
				参加(延数)	男子(延数)	女子(延数)
貫井北分館	子ども・子育て支援「自分も家族も大切に作るコミュニケーション」	4	12	1	0	1
	子ども・子育て支援「パパと一緒に組み立てよう」	1	2	1	0	1
	男女共同参画講座「コロナ禍を経験して考える人と地域がつながる共生社会」*	6				
	人権講座「災厄をしなやかに生きる」*	2				
	陶芸入門講座	7	14	11	11	0
	市民講座「エネルギーと私たちの生活」	4	8	3	1	2
東分館	親子工作教室「よく当たるゴムてっぽうを作ろう」	1	3	2	1	1
	子ども子育て支援講座「簡単・かわいい！ハロウィンラッピングワークショップ」	1	3	1	0	1
	男女共同参画講座「コミュニケーション力アップ講座」	3	12	12	9	3
	子育て世代のためのつるし飾り入門	3	9	11	5	6
本館	気象災害ってナニ？*	2				
	子どもの人権講座 2022	2	6	8	3	5
	家事効率化のための片づけ講座	1	2	5	2	3
緑分館	子ども体験講座「よく飛ぶ紙ひこうきの作り方、飛ばし方」	1	2	1	1	0
	子ども体験講座「プロマジシャンが教える親子で楽しむマジック教室」	2	4	3	1	2
	市民がつくる自主講座「水源の森の木で、DIYしませんか？」	1	2	2	1	1

*:募集したが保育希望者なし

対 象 者 おおむね2歳以上のお子さん

担当職員 伊藤 智代子

担当職員感想 感染症対策のため保育の募集人数状況によって減らすなど感染症対策を実施。保護者からは2歳未満の保育の希望もあり、第5期のきたまち保育サポーター養成講座で学びを深め、対応ができるように検討。

貫井北分館

NPO法人独自事業 図書館貫井北分室・ 公民館貫井北分館連携事業	きたまちYAサポーター・ きたまちYAひろば
---	-----------------------------------

目 的 図書館と公民館の連携事業で、社会教育施設の活用促進と、若者当事者が「きたまちYAサポーター」として参画し学年や学校を超えた仲間と居場所づくりにつなげる。

日程・内容

回	日程	内 容
1	5/19	新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止
2	7/17	「ブック de トーク」夏におススメの本とポップづくり、年間計画など
3	9/18	「ミステリー de トーク」ミステリーをテーマにした本やCDの紹介
4	11/20	「グルメ de トーク」グルメに関する作品紹介と感染症対策に配慮し、防災食ライスクッキーにデコレーション後、黙食など
5	12/18	「わたしのイチオシ！」小説、絵本、マンガなど、「自分が出会った中でイチオシ！」の作品を紹介
6	3/20	「絵本 de トーク」好きな絵本の紹介後、感染症対策に配慮し、ラテアートを作って楽しみ、黙食など

※いずれも日曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室 CD

募集方法 市報5月1日号、ポスター、チラシ、貫井北センターHP、公民館貫井北分館ツイッター、図書館貫井北分室ツイッター
申込順 電話、メールまたは直接

対 象 者 小学校高学年から25歳くらいまでの方

人 数 中学1年生から大学2年生 9人（男性2人、女性7人）
延べ参加者 15人

担当職員 公民館貫井北分館 伊藤 智代子、高木 貴紀
図書館貫井北分室 苜米地 さやか、宇佐見 千映子

担当者職員感想 中学生が6人、高校生が2人、大学生が1人で、学校や学年を超えた交流をすることができました。また社会教育実習生など3人が第3回目に参加し、「ミステリーde トーク」を楽しみました。

参加者感想 コロナ禍の経験から、自分の好きなことや心の動いたことを通して交流できる、きたまちYAひろばでの時間の濃さをより実感出来る気がします。学校や学年をこえて、また、地域という枠組みの中で出会い、つながれる面白さを知り、経験することができて良かったです。

貫井北分館

(NPO 法人独自事業) 図書館貫井北分室・ 公民館貫井北分館連携事業	手製本工房きたまち堂 ～思い出を 綴じる 糸かがりのアルバム～
---	------------------------------------

目 的 市内在住のアーティストの方から、手製本の仕立て方を学び、アルバムを作る。本の綴じ方の仕組みを理解し、ものを生み出す楽しさを体験する。また、参加者同士が作業や作品を通して交流を深め、生涯にわたって学びが循環する持続可能な地域づくりにつなげる。

日 程 3月30日(木)午後2時から4時まで

内 容 針と糸を使ってアルバム(約B6サイズ)を作り、綴じ方を体験する。

講 師 本間 あずさ さん(空想製本屋)

場 所 公民館貫井北分館 創作室

募集方法 市報3月1日号、市内中学校図書館・宮地楽器ホール・まちおこし観光協会に各20部、本町小学校・第四小学校の5・6年生のみの全生徒配布、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター 申込順

対 象 者 小学校5年生から25歳までの方

人 数 募集8人 応募8人 受講8人(男性1人、女性7人)
延べ参加者 8人

担当職員 公民館貫井北分館 伊藤智代子、高木貴紀
図書館貫井北分室 宇佐見千映子、苫米地さやか



担当職員感想 参加者の内訳は、小学生5人、中学生2人、高校生1人の8人。参加者は卒業式の写真や、好きなアニメの画像など、それぞれの想いを楽しそうにアルバムに綴っていました。

参加者感想

- 糸でとじる製本は初めてだったので、とても楽しかったです！今度は和本の製本もやってみたいです。アルバム、活用させていただきます。思い出の写真を貼るアルバムがちょうど欲しかったので、良かったです。
- 糸で通す作業や外見を装飾する作業が楽しかったです。似たような形で家で作られたら作りたいです！
- とってもおもしろかったです。糸でこのように本ができることが分かりおどろきました。
- とても楽しかったです。教え方がうまくキレイにできました。

公民館事業の計画

	館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
1	本館	高齢者学級「生きがい広場」	高齢期を有意義に過ごしていただくために開催し、学習と仲間作りの場を提供する。	5月から12月までの期間、様々なカテゴリーの学習を行い、孤立しがちな高齢者に対して、交流の場を提供することに寄与している。	5/9から12/12までの火曜日、8月は休み。(全15回)、原則10～12時	柳家花いち(落語家)他	20人(多数抽選)	対象：市内在住の65歳以上の方
2		「菜園教室」	野菜の共同栽培を通じて作る喜びを分かち合い、土起こしから収穫までを体験しながら。「食」・「農」・「自然」への認識を深めることを目的とする。	土起こしから収穫までを学習する。	5/10～3/6毎週水曜日、10時から正午まで 自主活動を含む全43回	泉 富夫 (農業研究家)	20人	
3		市民映画会	市民に文化芸術の親しむ機会を提供することを目的とする。	貫井北分館学習室で偶数月の原則第三土曜日に実施している。(年6回)	6/17(土) ①10時～ ②14時～	—	各回40人	6月は「クイール」
4		市民アカデミー	価値観が多様化し個々人の生き方・考え方が尊重される現代社会では様々な分野の学びが求められている。市民アカデミーは、国内及び国際の今日的な課題を学ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的とする。	市民公募、企画実行委員、事務局三者による準備会を設置し、春・秋各7回(同一内容)実施する。	(春期) 6/21～7/26原則毎週水曜、14～16時 (秋期) 10/21～12/2原則毎週土曜、10～12時	別紙	30人(多数抽選) 12/2のみ60名に増員	12/2は特別講座として実施
5		市民映画会	市民に文化芸術の親しむ機会を提供することを目的とする。	貫井北分館学習室で偶数月の原則第三土曜日に実施している。(年6回)	8/19(土) ①10時～ ②14時～	—	各回40人	8月は「ピーターラビット」
6	貫井南	市民講座「家族と考えたい アンガーマネジメント」	子育て、学校、職場、介護、家族、友人関係などイライラすることがあるのは、生活の中で誰でもあって怒ってしまう、また、怒りたいけれどグッと我慢してしまう人にも「怒り」のコントロール術を知ることで、人生を楽しむ術を学ぶ。	保育を行い、子育て世代の参加を促す。	7/8(土) 10時～12時	安藤 生奈さん (アンガーマネジメントコンサルタント)	市内在住・在勤・在学者の方20人	

7	東分館	成人学校「ストリートピアノ入門講座～マナーを学び体験しよう！～」	ストリートピアノとは街中・街角などの公共の場所に設置された誰でも自由に弾けるピアノであり、音楽を通じて人と人のつながりを生み出すといった効果が期待されている。講座では弾き手・聞き手のマナーや心掛けを学ぶとともに、公民館内で仮想ストリートピアノを設置し、参加者同士で学びを深める。	目的の欄参照	6/24、7/8 (全2回) いずれも土曜日 14時～16時	直井 紀子 (ピアノ講師)	12人(多数 抽選)	※第2回は第36回東センターまつりの企画の一部として実施する。
8		利用団体のつどい「第36回東センターまつり・プレイイベント ヴァイオリンとチェロ 涼やかサマーコンサート」	感染症予防の観点から東センターまつりのプレイイベントとして実施する。小さな子どもからシニアまでの幅広い世代を対象に、ヴァイオリンとチェロの調べを楽しむ機会を提供することで、音楽への造詣を深めると共に、東センターまつりへの来場促進に繋げていくことを目的とする。	実施時間帯を公民館企画実行委員との協議の中で幼稚園児や小学校低学年の児童なども参加できる時間帯とした。	6/30(金) 14時30分～16時	「岡本姉妹」 岡本 侑里子 (ヴァイオリニスト)、 岡本 梨紗子 (チェリスト)	40人(多数 抽選)	
9	緑分館	生活日本語教室	日本語の読み書きや日常会話に不自由している外国人に対して、ボランティアスタッフが市民生活に必要な日常会話の学習を援助する。	日本語の習得を図るとともに、日本文化を理解してもらうことを目的とする。	4/22～3/23 いずれも土曜日 10時30分～12時	生活日本語教室ボランティアスタッフ	特になし	
10		成人学校「ソフトエアロビクス」	有酸素運動で体力と代謝を高める。丁寧なストレッチで柔軟性を高める。	音楽に合わせ無理なく楽しく体を動かす。	6/9・16・23・30 いずれも金曜日 13～15時	末原 加寿世(エアロビクスインストラクター)	15人 (多数抽選)	
11		利用団体のつどい「第32回緑センターまつり」	利用団体が年に1回一堂に会し、日頃の活動成果を発表し、お互いの交流と親睦を深める。	記念イベントとして、小金井北高等学校コーラス部による合唱を実施。	6/3(土)・6/4(日) 記念イベント6/4(日) 10～12時	【記念イベント】 小金井北高等学校コーラス部	【記念イベント】50人 (先着順)	
12	貫井北分館	青年教育事業 青少年教育講座 世代間交流の推進「プラネタリウム解説員が語る七夕物語～星に願いを～」	プラネタリウム生誕100周年を記念し、七夕にまつわる話題を通して天文・宇宙分野への関心を高め、理解を深める。またプラネタリウム解説員の講師と参加者の交流、学校や学年を超えた参加者同士の交流を深める。	プラネタリウム100周年記念事業公認企画。「七夕」のエピソードだけでなく、星空、天文・宇宙分野への関心を高め、生誕100年を迎えるプラネタリウム観賞へとつなげる。	6/25(日) 14～16時	坪内重樹(プラネタリウム解説員)	20人(多数 抽選)	

13	貫井北分館	青年教育事業 青少年教育講座 世代間交流の推進 「はじめてのマンガイラスト講座」	マンガやイラストの技法や漫画家の仕事について、漫画家でもある講師から学ぶ。また感染症予防対策による「新しい生活様式」でも楽しめる、学校や学年を超えた交流を促進する。	マンガ制作の日程、流れなどからマンガ制作関連の仕事について知る。また、制作上で必要なストーリー、テーマ、キャラクターなどの説明後、実際の描き方などを体験する。	8/2 (水) 13～17時	柚木元 (東京工学院専門学校元講師、和光大学非常勤講師ほか)	16人 (多数抽選)	
14		男女共同参画事業 「きたまち保育サポーター制度」	子育て中の保護者が公民館主催講座に参加できるように支援する。なお、保育サポーターは、「きたまち保育サポーター講座」受講修了生が、講座受講中に子どもの見守りを行う。	保育室では、きたまち保育サポーターが3人1チームとなって、講座中の保育を担当。第1期から5期、30歳代から70歳代まで約40人が登録。	保護者が公民館主催講座を受講している時間	-	-	
15		成人学校 地域研究 「むさしの散歩 ①新緑の玉川上水・羽村から福生」	地域研究の一環として、実際にむさしの地域を歩き、地域の魅力を探る。	羽村駅から福生駅まで3時間程度歩ける方。羽村市観光協会よりガイドの協力。	5/11 (木) 10時～13時	—	12人 (多数抽選)	
16		成人学校 健康づくり講座 「はじめてのアーティフィシアルフラワーアレンジメント」	楽しみながら物づくりをし、脳の活性化を図り、参加者同士交流する。	本物と見違えるほど高品質な材料を使い、夏にぴったりのフレームアレンジを作成。	6/29 (木) 10～12時	吉田七奈子 (フラワーデザイナー)	12人 (多数抽選)	
17		成人学校 健康づくり講座 「ストレッチ&リズム体操を体験しよう」	楽しく体を動かして健康づくりに役立てる。	ストレッチ、有酸素運動を組み合わせたリズム体操を体験。	6/13、27 いずれも火曜 10～11時30分	碓紗成慧 (日本スポーツクラブ協会講師)	12人 (多数抽選)	
18		市民講座 地域福祉のための講座 「ぬくいきた認知症サポーター講座フォローアップ研修会」	認知症サポーターのスキルアップと、サポーター間の交流を図り、認知症を地域で支えるチームづくりを目指す。	傾聴を学ぶ。	4/24 (月) 14～16時	松尾隆義 (NPO法人P.L.A)	—	

令和5年度市民アカデミー 講座予定

テーマ 社会の変化と私たちの課題

	春期	秋期	主題	講師候補
	ジャンル		概要	
1	7/4	10/21	ロシアのウクライナ侵攻	上智大学外国語学部ロシア語学科 湯浅剛教授
	国際		ロシアがウクライナ侵攻して1年経つ今、両国並びに世界や日本の対応、今後の展望を学ぶ。	
2	6/21	10/28	日本経済と中小企業	一橋大学経済研究所 植杉威一郎教授
	経済		世界情勢並びに国内情勢を踏まえ、日本経済はどのように変化し、今後の展望をどう捉えるのかを学ぶ。	
3	6/28	11/4	少子化社会	嘉悦大学経営経済学部・付属地域産業文化研究所長 和泉徹彦教授
	社会		少子化社会へ急速に変化した日本の歯止め対策はどうなっているのかを学ぶ。	
4	7/5	11/11	価値観の多様化	東京学芸大学人文社会部人間社会学科 苔米地伸教授
	社会		選択的夫婦別姓制度、マイノリティ対応等、日本における価値観の変革とその詳細について学ぶ。	
5	7/12	11/17	NICT	情報通信研究機構（NICT）職員
	地域		情報通信研究機構（NICT）本部を見学し、最先端の情報通信技術等を学ぶ。	
6	7/19	11/25	高齢者医療・介護におけるAIの活用	東京農工大学工学研究院先端機械システム部門（講師選定中）
	技術革新		高齢化社会におけるAI技術の役割やAI技術を利用した医療等の発展について学ぶ。	
7	7/26	12/2	江戸時代のライフサイクル	東京大学史料編纂所 本郷和人教授
	文化・環境		日本は江戸時代にすでに循環型社会の形成が出来ていた！	
	振り返りの会		（春期）第7回講座終了後、30分で実施（16時～16時30分）、（秋期）統一アンケートで代用	

春期：水曜、14時～16時 秋期：土曜、10時～正午

【春期】第3回のみ講師都合のため7/4(火)同時刻に実施予定。

【秋期】第5回について、現地会場都合のため11/17(金)に実施予定。

第7回について、特別講座として北町ホールを使用し定員60名にて実施予定(周知方法については別途調整)。